# 英語演習 メディア論　第3回

## 会話を続ける／これからの進め方／第5回の準備

志柿 浩一郎
Koichiro Shigaki

2026年度 秋学期　月曜4限（10/19）・木曜3限（10/29）

# 今日やること

前回入りきらなかった「会話を続ける」から始めます

- 質問して会話を続けるゲーム（10秒止まる・要らない日本語でアウト。1回目は自分のこと、2回目からテーマを選ぶ）
- これから授業がどう進むか（第5回からの形と、出すもの）
- 第5回の準備：ディスカッション「メディアって何？ なぜ学ぶ？」と、見るもの・読むもの
- 次回までの課題

# さあ自己紹介したぞ、聞いたぞ。その次は？

## All right, I told about myself, others told about themselves.

## Then, what's next?

自己紹介のあと、会話を続ける

# ほんとうに内容聞いてた？聞けた？

自己紹介したあと会話が止まるのは、英語力の問題ではない

- 相手の自己紹介、いま言えますか。名前、していること、好きなこと。
- 自己紹介したぞ、聞いたぞ、で止まるのは、たいてい相手の話を覚えていないから。返す材料がない。
- これは他の受容（reception）にも関係する。会話だけでなく、リスニングも読解も同じ問題。

# なぜ「時間いっぱい続ける」練習をするのか

英語の会話でいちばん困るのは、文法の間違いではなく沈黙

- 自己紹介はできても、そのあと何を言えばいいか分からなくて止まる。たいていそこで終わる。
- 続けるのに必要なのは、むずかしい英語ではなく、質問を返すことと、つなぎの一言。
- 同じ話を相手を替えてくり返すと、2回目、3回目と言える量が増える。時間を決めて、止まらずに続ける練習をゲームでやります。

# 質問には2つの型がある

Closed-ended と Open-ended。両方混ぜると、会話が続く

## Closed-ended question

はい／いいえ、または答えが限られる。確かめる・絞りこむときに使う

Do you live in Sapporo?

Are you in a club?

Which one, A or B?

## Open-ended question

答えが人によっていろいろ出る。話を広げるときに使う

What was it like?

How did you get into it?

Why do you like it?

# Mix both questions to keep conversation going

# 会話・対話を継続するには、両方の質問型を使用して継続する

両方混ぜると、会話が続く。このあと、ゲームでやります

# 止まりそうなときの、つなぎの一言

沈黙しそうになったら、どれか1つを言えばいい

### 相手に返す

How about you?

What do you think?

Me too! / Really?

### 広げる

Tell me more about ___.

Why do you like it?

What was it like?

### 時間をかせぐ

Let me see...

Good question.

Sorry, one more time?

# ゲーム：質問して、会話を続ける

ルールは2つだけ。アウトになったら、その回の最初からしきりなおし

- アウト①：10秒、誰も何も言わなかったら。
- アウト②：要らない日本語を使ったら。人の名前・地名・店の名前など、英語にしようがないものはOK。
- 英語が出てこないときは How do you say ○○ in English? と聞けばいい。これはアウトにならない。
- アウトかどうかは、ペアで自分たちで判定する。タイマーは画面に出します。

# ゲームの進め方：1分半 → 2分 → 3分

相手を替えながら、長くしていく。アウトになったら、その回の最初から

### 1回目　1分半

ペアで。テーマは**自分のこと**。自己紹介から始めて、相手は質問で返す。

### 2回目　2分

相手を替える。テーマは**自分で選ぶ**（下の例から、または自由に）。

### 3回目　3分

また相手を替えて、2回目と同じテーマで。同じ話をくり返すと、言える量が増える。

- 2回目から選べるテーマの例：最近よく見ている動画・SNS／好きなもの／北大に来た留学生にすすめたいもの／最近やったこと
- 10秒止まる、または要らない日本語でアウト。しきりなおして、その回の最初から。

# 最後に：相手を英語1文で紹介する

ちゃんと聞いていたかは、ここで分かる

- 最後の相手のことを、別の人に英語1文で紹介する。例）She has a cat named Mochi, and she wants a second one.
- 言えなかったら、次はキーワードをメモしながら聞く。それが会話を続けるコツです。
- ふりかえり（1分）：言えなかった言い方を1つメモして、あとで調べる。ポートフォリオに書いていい。

# これから、授業がどう進むか

第5回から、授業の形が変わります

# 学期の流れ

第4回までは基礎づくり。第5回から「内容の回」と「準備の回」を交互に

- 第1〜4回　基礎づくり：英語の音、文の切り方、自己紹介と会話、道具（アプリとAI）の使い方。
- 第5・7・9・11・13回　内容の回：メディア論のテーマを1つ。英語のミニ講義を聞き、ペア・グループで説明しあう。
- 第6・8・10・12回　準備の回：前の回の内容を、知らない人に英語で説明する。次の回の語彙と考え方を予習する。
- 最後の回は、学期のまとめ。

# 内容の回と、準備の回でやること

毎回の流れが決まっているので、準備がしやすい

## 内容の回（例：第5回）

前の週までに、決まった動画・英文を見て読んでくる

→ 英語のミニ講義

→ ペア・グループで、何の話だったか説明しあう

→ 2週間後までに、意見を英語で録音して出す

## 準備の回（例：第6回）

冒頭：前の回の内容を、このテーマを知らない人に英語で説明する

→ 次の回の語彙と考え方を予習

→ 翌週の音読課題を、自分でつくる

# 出すもの：意見の録音①〜⑤

内容の回の講義について、自分の意見を英語で書いて、録音して出す

| | ①第5回 | ②第7回 | ③第9回 | ④第11回 | ⑤第13回 |
|---|---|---|---|---|---|
| 月4 | 11/15 | 12/6 | 12/20 | 1/17 | 1/31 |
| 木3 | 11/25 | 12/9 | 12/23 | 1/13 | 1/27 |

- 1分で話せる長さ（100〜150語くらい）。AIを使ってかまいません。書いたあと、見本の音を真似して3回以上録音します。
- 毎週やること：音読練習で1本（読んで、声にして、説明する）、リーディングか語彙を1本、ポートフォリオに記録を1つ。

# この授業の中心は「説明すること」

CEFR では「仲介」（mediation）と呼びます

- 英語で読んだり聞いたりした内容を、そのテーマを知らない人に英語で説明する。
- 読む・聞く力と、話す力の両方を使う。だから、内容の回の前に見て読んでくる。
- 今日の「メモして、質問を返して、続ける」は、そのための練習でもあります。

# 第5回の準備を始める

第5回のテーマ：Why Study Media?（メディア研究とは何か）

# ディスカッション：メディアって何？ なぜ学ぶ？

3〜4人で、英語で。第5回の予習。答えは1つではない

## Q1　What is "media"?

思いつくものを、できるだけたくさん挙げる。
スマホ・新聞・YouTube・広告・ゲームは？
どこまでが「メディア」か。

## Q2　Why study the media?

大学でメディアを学ぶ理由を、2〜3個出す。
学ぶ必要はない、という意見もあり。
その理由も言ってみる。

- 使える言い方：I think media means... / For example, ... / We need to study the media because... / I'm not sure, but...
- 出た意見をメモしておく。第5回で、リーディングの人たちの意見と比べます。

# 第5回までに、見るもの・読むもの

授業サイトの「第5回の資料」にリンクがあります

- 見る：Plato's Allegory of the Cave（TED-Ed、4分）
- 見る：The Cave: An Adaptation of Plato's Allegory in Clay（同じ洞窟の話を、粘土アニメで）
- 見る：Media Studies - why EVERYONE should study it!（The Media Insider。イギリスのメディア論の先生）
- 読む：リーディング「Why Study the Media?」（約1,070語。授業サイトの第5回の資料から）。わからなかった語を3つメモする。
- 第5回は、月4が11/2、木3が11/12。それまでに見て、読んでおく。

# 見るときの順番

音が先、文字があと。逆にしない

- まず字幕なしか英語字幕で、音で聞く。全部わからなくていい。何の話か、だけ。
- わからないところは、英語字幕で確かめる。
- 字幕は必ず英語にする。YouTube の日本語の自動翻訳字幕は、まだ質がかなり低い。
- 最後にリーディングを読み、いちばん納得できた理由と、疑問に思った理由を英語で1文ずつメモ。第5回で使います。

# 今日ここで、少しやってみる

TED-Ed の動画の冒頭だけで、やり方を確かめる

- 冒頭1分を、音だけで聞く（先生が流します）。
- ペアで、何の話だったかを1文で言いあう（ここは日本語でいい。ゲームではないので）。
- 英語字幕で同じところを確かめる。聞こえなかった語を1つ、ペアで出しあう。
- その語を、見本の音を真似して言ってみる。

# 次回までの課題

授業サイトにも書きます

- 「ポートフォリオ」に、授業外で英語に触れた記録を1つ入力。
- 第5回の準備：動画3本を見て、リーディング「Why Study the Media?」を読む。わからない語を3つメモ。
- 音読練習で1本（読んで、声にして、説明する）。
- 自己紹介の録音（直したもの）。締切は授業サイトの表で確認。

# 質問ある？

授業のあとでも、メールでも